

令和6年度 地歴科「地理探究」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～E 組
教科書	『新詳地理探究』 (帝国書院)	副教材等	『最新地理図表GEO』 (第一学習社)

1 学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 授業内容

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1部 現代世界の系統地理 第1章 自然環境 第2章 資源と産業	第1章 1. 地形 2. 気候 3. 日本の自然環境 4. 地球的課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地球表面には、地球規模の大地形や、河川が形成した小地形などのさまざまな地形がみられ、それぞれの地形には、人間活動とどのように関わっているか考える。 ・気温や降水量、風などの気候要素は地域によって異なり、その気候の違いは、どのような要因で生まれるのか考える。 ・農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるのか考える。 ・飽食や飢餓がみられるのは、それぞれどのような地域か考える。また、その原因は何か考える。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 中間考査
5		第2章 1. 農林水産業 2. 食糧問題 3. エネルギー資源・問題 4. 工業 5. 第三次産業 中間考査		
6	第3章 交通通信と観光貿易 第4章 人口、村落 都市	第3章 1. 交通・通信 2. 観光 3. 貿易と経済圏	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網や通信網の発達には、傾向や地域性、地域間格差が現れているのか考える。 ・観光にはどのような特徴や利点があり、どのような課題があるのか考える。 ・世界の貿易は拡大を続けているが、地域性や地域間格差が現れてきている。それはなぜなのか考える。 ・日本の都市にはどのような課題があり、それらを解決するために、どのような取り組みが行われているのか考える。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 学期末考査
7		第4章 1. 人口 2. 人口問題 3. 村落と都市 4. 都市・居住問題 学期末考査		
9	第5章 生活文化、民族・宗教 第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分	第5章 1. 衣食住 2. 民族・宗教と民族問題 3. 国家の領域と領土問題	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているのか考える。 ・民族や宗教の独自性はどのようにとらえることができ、各地にみられる民族問題の背景とどのように関わっているのか考える。 ・領域が定められたり、その領域が変更されたり、国家が新たに誕生したりすることで、どのような問題が起こっているのか考える。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 中間考査
10		第1章 1. 地域区分 中間考査		

1 1	第2章 現代世界の 諸地域	第2章 1. 中国 2. 韓国 3. ASEAN諸国 4. インド	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理し、急速な経済発展に伴う地球的課題について考察する。 ・文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 ・西アジアと中央アジアには、自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史経緯や地域ごとの特殊性がある二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を考える。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 学期末考査
1 2		5. 西アジアと中央アジア 6. 北アフリカとサハラ以南 7. EU諸国 学期末考査		
1	第2章 現代世界の 諸地域 第3部 現代世界に おけるこれ からの日本	第2章 10. ラテンアメリカ 11. オーストラリアとニュー ジーランド 第3部 1. 将来の国土の在り方 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にどうかかわっているのか考える。 ・日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組みばよいか考える。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 学年末考査

3 評価の観点

知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・中間、期末考査の得点が基本。 ・他にノート・プリント等の提出、授業への取組姿勢、出欠状況、等の結果を踏まえ、総合的に3つの評価の観点に従い評価する。 <p>*夏休み・冬休みの課題を出すこともある。</p>
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>地理は単なる暗記科目ではありません。日本や世界の地形や地誌について学び、考え、これから先のことを予想するなど様々なことをする科目です。受け身で授業を受けるのではなく、主体的に考えて授業に取り組んでください。新たな知識からこれまでになかった視点を身につけたり、友人の意見を参考にしながら前向きに取り組むことを期待しています。</p>
--

